

神奈川県神経芽細胞腫マスキリーニング連絡会

(分担研究：マス・スクリーニングシステムの情報収集・利用に関する研究)

角田 昭夫

《要約》神奈川県主催で神経芽細胞腫マスキリーニング連絡会が開催され、県下全体の趨勢を把握し、意見交換を行って成果を上げることが出来た。

《見出し用語》神経芽細胞腫マスキリーニング連絡会

《研究方法と結果》神奈川県には横浜・川崎・横須賀の3政令都市があり、県域を含めた4地域で神経芽細胞腫マスキリーニング(以下MS)が行われ、各々システムも多少異なる(表1)。

この複雑な体制を整理し、かつ情報交換を行って関係者の連絡を密にする目的で、1994年1月25日、神奈川県衛生部健康普及課主催による「第1回神経芽細胞腫MS連絡会」が開催された。

出席者は① 学識経験者：聖マリアンナ医科大学、東海大学、北里大学、神奈川県リハビリテーション病院、こども医療センターより各1名(合計5名)

② 行政関係者：神奈川県2名(高橋俊雄衛生部健康普及課長出席)、横浜市衛生局健康増進課より2名、川崎市衛生局保健部保健指導課より2名、横

神奈川県立こども医療センター

須賀市歩保健衛生部衛生総務課より1名、こども医療センター研究普及室より1名(合計8名)

③ 検査機関代表：県保健所1名、予防医学協会5名、川崎市1名(学識経験者と同人)、横須賀市1名(合計8名)

以上合計20名。

(1) 情報交換：各地区から受診率・発見患児数・患児/受診児数・患児/精密検査児が報告された(表2)。

合計74名の神経芽細胞腫患児がMSによって発見され、治療を受けた。治療機関として川崎市の12名は聖マリアンナ医科大学、神奈川県域の17名は東海大学(4名)北里大学(5名)こども医療センター(8名)、横浜市と横須賀市の45名はこども医療センターである。

(2) 意見交換：問題点として① 追跡不明者の存在

：検査機関から精密検査児として紹介されたものの中には、所定医療機関に来院しないものが数名あり、現在の体制ではこれのチェックは不可能である。ただこども医療センターでは研究普及室という組織があり、紹介患児はすべてここを通じて受診するので、未受診者のチェックも容易である。横浜市在住者の未受診者が8名あり、調査の結果6人は他の医療機関を受診したことが判明したが、残り2名は不明であった。

② 地域的発生頻度差：県域のみが受診者あたりの発生率が低いのが目立つ。また疑陽性者の頻度も県域では多い。

③ 1歳過ぎ発症の神経芽細胞腫：MSの実施にかかわらず1歳過ぎて発症する進行神経芽細胞腫が少なくないことは、出席した学識経験者全員が認めるところであり、これの対策が話題となった。横浜市の3保健所での研究調査として、1歳6カ月健診を利用する神経芽細胞腫再MSを試行しており、この結果も報告された。これによる患児の発見はない

(本報告書中木下洋子論文参照)。1歳過ぎて行う神経芽細胞腫MSが、進行例発症防止の一方法であることで意見の一致を見たが、具体的対策について結論はでなかった。

《考察》各地の情報交換で、出席者一同の認識を新たにした点、本連絡会の意義は大きかった。県域での受診児あたりの患児発見頻度の低さが一応の問題になるがこども医療センターでの、MSは陰性で後に発症した14名の神経芽細胞腫患児の住所は、横浜市6、県域6、その他2名となっており、この数値から見ると県域の検査精度は決して低い訳ではない。

横浜市の研究調査による患児の発見はまだだが、現在日本の3地域(札幌、宮城県、京都市)で1歳過ぎの神経芽細胞腫MS再検査が施行され、宮城県では2名の患児が発見されたと聞く。

現在の神経芽細胞腫MSの欠点を是正するなんらかの方法が、今後も年1回開催を継続の予定である本連絡会の重要な話題となろう。

(表1) 神奈川県神経芽細胞腫マス・スクリーニング・システム

| | 濾紙・容器配布機関 | 検査機関 | 精密検査機関 |
|------|---|--------------------------------|-------------------------------------|
| 川崎市 | ◎ 9保健所(川崎・大師・幸・田島・中原・高津・宮前・多摩・麻生) ◎ 健診協力医療機関 | ◎ 聖マリアンナ医大小児保健研究室 | ◎ 聖マリアンナ医大病院 |
| 神奈川県 | ◎ 12保健所(平塚・鎌倉・藤沢・小田原・茅ヶ崎・相模原・三崎・秦野・厚木・大和・足柄上・津久井) ◎ 6支所(葉山・真鶴・大野・伊勢原・海老名・山北) | ◎ 5保健所衛生検査課(藤沢・小田原・茅ヶ崎・相模原・厚木) | ◎ 東海大学病院 ◎ 北里大学病院 ◎ こども医療センター |
| 横浜市 | ◎ 16保健所(鶴見・神奈川・西・中・南・港南・保土ヶ谷・旭・磯子・金沢・港北・緑・戸塚・栄・泉・瀬谷) ◎ 1出張所(緑北部) ◎ 健診協力医療機関 | ◎ 神奈川県予防医学協会 | ◎ こども医療センター |
| 横須賀市 | ◎ 3保健所(中央・北部・南部) | ◎ 横須賀市衛生試験所 | ◎ こども医療センター |

(表2) 神経芽細胞腫マスキリング地区別実施状況

| 地 区 | 川 崎 市 | 神 奈 川 県 | 横 浜 市 | 横 須 賀 市 |
|-----------------|-----------|------------|-----------|-----------|
| 年 度 | 1983～1992 | 1983～1992 | 1983～1993 | 1989～1992 |
| 受 診 率 | 76.0% | 82.9% | 78.7% | 87.8% |
| 発 見 患 児 数 | 12 | 17 | 43 | 2 |
| 患 児 / 受 診 児 | 1 / 8,600 | 1 / 18,800 | 1 / 6,960 | 1 / 6,350 |
| 患 児 / 精 密 検 査 児 | 1 / 10 | 1 / 18 | 1 / 5.3 | 1 / 5.5 |



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



《要約》神奈川県主催で神経芽細胞腫マススクリーニング連絡会が開催され、県下全体の趨勢を把握し、意見交換を行って成果を上げることが出来た。